



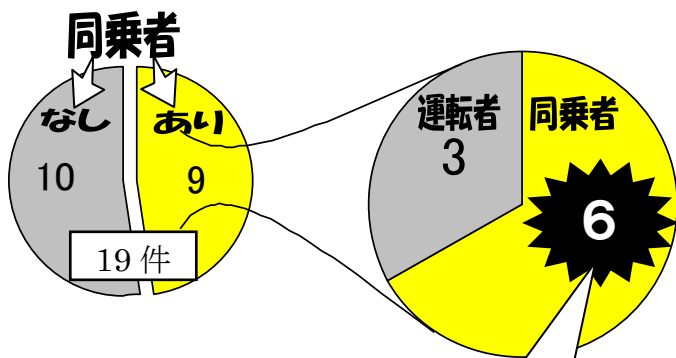
車両単独による交通死亡事故発生!

平成30年3月6日(火)午後1時8分頃、周防大島町の県道上で軽四乗用車(70代男性運転)が電柱に衝突し、同乗していた90代女性が死亡する交通事故が発生しました。

3月9日(金)から、「高齢者の交通事故防止県民運動」が実施されます。高齢者を交通事故から守るため、県民一人一人が交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を心がけましょう。



自動車乗車中高齢者が死亡した事故



※ 同乗者がいた9件の事故のうち6件(約67%)は同乗者が死亡

平成29年シートベルト調査結果

区分	調査対象	着用率		
		全国平均	山口県	全国との比較
一般道路	運転席	98.6%	99.0%	0.4
	助手席	95.2%	92.6%	-2.6
	後部座席	36.4%	29.9%	-6.5

※ 助手席、後部座席の着用率が全国平均より低く、後部座席の着用率が特に低い

全ての座席で必ずシートベルトの着用を!

一般道路での後部座席のシートベルト着用率は、運転席、助手席と比較すると大幅に低くなっています。



交通事故の衝撃はすさまじく、シートベルトを着用していない後部座席同乗者は、前席を乗り越えて運転席や助手席の人に激突したり、ガラスを破って車外に放出される可能性も高くなります。

こうした被害を防ぐため、後部座席同乗者にもシートベルト着用が義務づけられています。交通事故の被害軽減のために、同乗者全員でシートベルトを正しく着用しましょう。